

私の親友

動画URL: <https://youtu.be/PlEeb2H5f2g>

今回は "私の親友" を学びながら、日本語を勉強しましょう。

この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には "ふりがな" があります。

後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に "ふりがな" はありません。

学習にお役立てください。

自己紹介と親友との出会い

こんにちは、私の名前は佐々木翔 (ささき しょう) です。今は28歳で、東京に住んでいます。出身は北海道の札幌です。子どものころから自然が大好きで、冬にはスキーをしたり、夏には山登りをしたりして育ちました。今は仕事で東京にいますが、北海道の自然が恋しくなることがよくあります。

親友の鈴木蓮 (すずき れん) とは、大学で出会いました。二人とも北海道出身で、最初はその共通点で話が盛り上がりました。サークルのイベントで隣の席に座ったことがきっかけで話すようになり、その後、趣味や好きな食べ物についても話が合い、一気に仲良くなりました。

私は彼を "れん" と呼び、彼は私のことを "しょう" と呼んでいます。お互いにあだ名で呼び合うようになってからは、さらに打ち解けて、いろんなところに一緒に出かけたり、よく遊びに行くようになりました。最初のころはちょっと気まずかったけれど、今では毎週のように連絡を取り合っています。

親友との初対面の印象

最初にれんと会った時、私は少し緊張していました。大学のサークルに入ってすぐだったので、まだ友だちがいなくて、誰と話せばいいのかわからなかったのです。その時、サークルのリーダーが "新しいメンバー同士で隣に座って話をしてみてください" と言ったので、私はれんの隣に座りました。

れんは、とても落ち着いていて、話しかけるのが少し難しそうに感じました。でも、私が "北海道出身です" と言った瞬間、彼の表情が少し明るくなりました。"えっ、僕も北海道出身だよ!" と驚いた顔で言ってくれて、それから話が弾むようになりました。最初はお互いに少しぎこちなかったけれど、北海道のことを話し始めるとすぐに打ち解けました。私が "スキーが好きなんだ" と言うと、れんも "僕も! 冬には毎年家族とスキーに行っていたよ" と話してくれました。そんな風に共通の趣味がたくさんあったことで、私たちはすぐに友だちになりました。

最初はおとなしい印象だったれんですが、話していくうちに、彼の明るさや優しさがどんどん見えてきました。私は彼と話すたびに "この人とは、もっと仲良くなれそうだな" と感じました。れんとの初対面は、今でも鮮明に覚えています。私にとってとても大切な出会いでした。

共通の趣味

れんと私が仲良くなった理由は、共通の趣味がたくさんあったからです。最初はスキーの話題から始まりました。お互いに北海道出身だったこともあり、冬の寒さやスキー場について話すとき、自然と話が弾みました。私は子どものころから毎年スキーに行っていたし、れんも家族と一緒によくスキーをしていたそうです。特にスキー板や滑るテクニックについて話しているとき、時間が経つのも忘れるほど盛り上がりました。

ある冬の週末、サークルの仲間たちとスキー旅行を計画しました。れんと私は二人で一緒に準備をして、スキー場に向かいました。スキーリフトに乗っている間も、どのコースを滑るか、どんな技を試したいかを話し合い、わくわくしていました。その日は快晴で、雪のコンディションも最高でした。二人で"この雪質はいいね"と、スキー場でしかできないような話をしながら滑りました。二人で一緒に滑りながら、お互いの技術を教え合ったり、時には競争したりしました。スキーをしながら笑い合うその時間は、今でも思い出に残っています。

また、れんと私にはスポーツだけでなく、映画や音楽の趣味も重なっていました。れんはアクション映画が大好きで、特にカーチェイスや戦いのシーンがある映画に興奮するタイプです。一方、私はSF映画が好きで、特に未来や宇宙の世界を描いた作品に興味があります。ある日、私たちはお互いのおすすめの映画を一緒に観ることにしました。れんが選んだアクション映画を観て、私は"今まで見たことのないタイプの映画だ"と感動しました。逆に、れんは私が選んだSF映画を観て、"こういう世界観もおもしろいね"と新しい視点を持ったようです。

音楽の話題でもよく盛り上がりました。れんはギターを弾くのが好きで、私はピアノを少し弾けます。いつか一緒に何か演奏できたらいいなと冗談を言い合いながら、音楽の話をしました。週末には一緒にライブに行ったり、お互いに新しいアーティストを紹介し合ったりして、音楽を通じて友情を深めました。

共通の趣味があることで、れんとはどんな話題でも楽しむことができました。そして、新しいことに挑戦するときも、私たちはお互いに誘い合って、常に一緒にいる時間を大切にしてきました。友情が長く続く理由の一つは、この"一緒に楽しむ"ということだと思えます。

友情を深めた特別な瞬間

れんとの友情がさらに深まったのは、大学2年生の夏休みに行った長野旅行がきっかけでした。私たちのサークルでは、毎年夏に旅行を企画していて、その年は自然を満喫するために長野の山々と温泉を巡ることに決めました。れんも私も自然が大好きで、すぐに参加を決めました。

旅行当日は、朝早くからサークルの仲間たちと一緒に登山の準備をし、楽しみにしていた山に向かいました。天気は良く、風も気持ちよかったので、登山は順調に進みました。私たちは頂上を目指して進み、途中で景色の美しさに感動しながら写真を撮ったり、おしゃべりをしながら楽しい時間を過ごしました。

しかし、山の中腹に差し掛かった頃から天気が急に悪くなり、霧が出てきて道が少し見えにくくなりました。それでもみんなで励まし合いながら進んでいたのですが、突然、仲間の一人が石につまずいて足を滑らせてしまいました。足をひねってしまい、歩くのが難しくなっていました。みんなが不安そうにしている中で、れんが冷静に"今は無理をしないで、安全に下山しよう"と提案しました。

私もれんと一緒に、けがをした仲間をサポートしながらゆっくりと下山を始めました。れんはけがをした仲間のリュックを代わりに持ってあげたり、励ましの言葉をかけたりして、とても頼もしく感じました。私も手伝いましたが、れんのリーダーシップには本当に助けられました。天気がさらに悪くなる中、れんの冷静な判断と優しさで、みんな無事に下山することができました。

下山したとき、みんなが"無事に帰れてよかった"と安心した表情を浮かべていました。そのとき、れんと私はお互いに"よく頑張ったね"と言い合い、ほっと一息つきました。あの困難な状況でれんが見せた落ち着きと優しさが、私にとって彼を本当に信頼できる友達と再確認させてくれました。

この旅行を通じて、れんとの友情は一層深まりました。特別な瞬間を共有し、困難な状況を共に乗り越えたことで、私たちの絆はより強固なものになりました。それ以来、どんな問題に直面しても、お互いに支え合いながら進んでいけるという自信ができました。この旅行の思い出は、今でも私たちの間で話題になります。笑いながら"またいつか一緒に山に登ろう"と話すこともあります。

れんとの友情は、この特別な瞬間によってさらに深まっただけでなく、私自身も彼を通じて、人との信頼関係を大切にすることの重要性を学びました。

困難を乗り越えた絆

れんと私がさらに強い絆を築いたのは、大学の3年生のときに起きた出来事がきっかけでした。私たちはその頃、サークルのリーダーとして、新しいメンバーを迎え入れるイベントを計画していました。そのイベントは、私たちにとっても大事なもので、新入生にサークルの楽しさを伝える大きなチャンスだったのです。

しかし、イベントの準備が進むにつれ、いくつかの問題が出てきました。まず、当日使う予定だった会場が急に使えなくなり、別の場所を探さなければならなくなりました。また、予定していた予算も足りなくなり、何かを削らなければいけない状況になりました。私はこの事態に頭を抱え、どうすればいいのか分からなくなってしまいました。何日も寝不足の状態、イライラも募っていました。

そんな中、れんはいつも通り冷静でした。彼は私に"大丈夫、まずは一つ一つ問題を解決していこう"と言ってくれました。そして、れんはすぐに会場探しを手伝い始め、候補となる場所をいくつかみつけてくれました。また、予算の問題についても、必要な部分を優先して、削れる部分をみんなで話し合うよう提案してくれました。れんがリーダーシップを発揮してくれたおかげで、私も冷静になり、問題を少しずつ解決していくことができました。

特に印象的だったのは、れんが"チームでやっているんだから、一人で抱え込まないでみんなに頼っていいんだよ"と言ってくれたことです。私はその言葉にとっても救われました。それまで、自分一人で全部を完璧にやらなければならないと思い込んでいましたが、れんの助けを借りて、チームで協力することの大切さを学びました。

最終的に、イベントは大成功を収めました。新入生もたくさん参加してくれて、みんなが楽しんでいる様子を見たとき、れんと私は顔を見合わせて"やったね!"と笑い合いました。イベントが終わった後、私は改めてれんに感謝の気持ちを伝えました。れんは"お互い様だよ"と笑って言いましたが、その時の彼の言葉と行動が私にとって本当に心強かったのです。

この経験を通じて、私たちの友情はさらに強くなりました。困難な状況でも、れんは常に冷静で、的確なアドバイスをしてくれました。そして、私にとって、れんがいることでどんな困難にも立ち向かえるという自信を持てるようになりました。

親友から学んだこと

れんとの友情を通して、私は多くのことを学びました。特に、彼から学んだのは"冷静さ"と"相手を思いやる心"です。れんは、いつも落ち着いていて、どんな状況でも冷静に物事を判断します。私は感情的になりやすく、焦ってしまうことが多かったのですが、れんと一緒にいることで、少しずつ落ち着いて対応することの大切さを理解しました。

たとえば、私たちがサークルで大きなイベントを企画していたとき、私はパニックになりそうでしたが、れんは"まずは一つずつ解決しよう"と言って、私を落ち着かせてくれました。彼の冷静な態度を見て、私も気持ちを整え、問題に向き合うことができました。この経験を通じて、焦らずに状況を見て、次に何をすべきかを考えることの重要性を学びました。

また、れんから学んだもう一つの大切なことは"相手を思いやる心"です。れんは、いつも周りの人たちのことを考え、困っている人がいればすぐに手を差し伸べます。サークルの後輩が勉強で困っていたとき、れんはすぐに声をかけて"手伝おうか?"と言っていました。私も彼のその姿勢に影響を受け、誰かが困っているときには、自分から助けようと思うようになりました。

逆に私がれんを助けたエピソードもあります。あるとき、れんがアルバイトで忙しくて、勉強に集中できない時期がありました。その時、私は"何か手伝えることはないか?"と彼に声をかけました。れんは最初、"大丈夫"と言っていましたが、最終的には"実はレポートの一部で少しアドバイスが欲しい"と頼んできました。そのとき、私は少しでも彼の力になれたことが嬉しく、私たちの友情がさらに深まったと感じました。

こうした経験を通じて、私自身も成長しました。れんのように冷静で優しい人間になりたいと思うようになり、少しずつですが、自分の行動にも変化が現れました。人との関わり方や、友情の大切さを改めて実感することができたのです。

親友との楽しい日常

れんとの友情は、特別なイベントや旅行だけでなく、何気ない日常の中でも深まっていきました。私たちは毎日のように連絡を取り合い、週末には一緒に出かけたり、大学の授業の後にカフェでおしゃべりしたりしていました。これといった特別なことはしていませんでしたが、そういった普通の時間が、私にとってはとても大切な思い出です。

ある週末、れんと私は特に予定もなかったもので、近くの公園に行くことにしました。公園に着いた私たちは、ただベンチに座って、お互いの最近のことについて話しました。れんはそのとき、アルバイトが忙しくて少し疲れていると言っていました。私は彼に"無理しないでね"と声をかけました。すると、れんは"ありがとう。話して少し楽になったよ"と笑って言いました。こんな風に、何気ない会話でも、お互いを支え合っていると感じる瞬間があります。

日常の中では、れんが私の家に遊びに来ることもありました。私の部屋は小さくてシンプルですが、れんはいつも "居心地がいいね" と言ってくれていました。ある日、私たちは一緒に晩ごはんを作ることになり、簡単なパスタを作ることにしました。れんは料理が得意ではなかったので、私が作り方を教えながら一緒に料理をしました。途中でれんがパスタを焦がしてしまい、私たちは大笑いしました。それでも、そのパスタはとても美味しく感じましたし、その時間も特別な思い出になりました。

お互いの誕生日を一緒に祝うこともあります。去年、私の誕生日に、れんがわざわざ手作りのケーキを作ってくれました。彼は普段料理をしないので、ケーキの見た目は少し不格好でしたが、その気持ちがとても嬉しく、私は感謝の気持ちでいっぱいでした。ケーキを食べながら "来年はもっと上手に作るから楽しみにしていて" と言ったれんの笑顔は、今でも忘れられません。

こうした日常の小さな出来事が、私たちの友情を支えていると感じます。特別なことをしなくても、一緒にいる時間が楽しく、自然と笑顔になれる関係こそが、本当の友情なのだと思います。

これからの夢や計画

私たちは、これからも一緒にいろいろなことに挑戦したいと思っています。私たちの夢や計画はたくさんありますが、その一つは "また一緒に旅行に行くこと" です。大学の頃から、私たちはよく旅行をしてきましたが、社会人になってからはお互い忙しく、なかなか時間が取れませんでした。それでも、次の長期休暇にはどこかに行こうと話しています。れんは "海外旅行をしたい" とよく言っています。私も海外にはまだ行ったことがなく、れんと一緒に初めての海外旅行を経験できたら素晴らしいなと思っています。行き先として、私たちが今興味を持っているのはヨーロッパです。れんはヨーロッパの歴史に興味があって、私も美術や建築に興味があるので、二人で行けばきっと楽しい旅になると思っています。

また、私たちは仕事の面でも一緒に何かやりたいと話しています。今はお互い別々の仕事をしていますが、れんはいつか自分のビジネスを始めたいと言っています。私もれんのその夢を応援していますし、将来的にはれんのビジネスに何かしらの形で協力できたらいいなと考えています。れんの計画を聞いていると、とても前向きで情熱的な人だと感じ、彼と一緒に何かを成し遂げることができれば、さらに私たちの絆も強くなるだろうと思います。

もちろん、これからも日常的な楽しい時間を過ごすことも私たちの大切な計画です。れんと私は、映画を一緒に観たり、カフェでおしゃべりしたりすることが好きなので、忙しい日々の中でも時間を見つけてリラックスする時間を作ろうと心がけています。最近では、れんが新しい趣味として写真を始めたので、今度は一緒にカメラを持ってどこかへ撮影に出かけようと計画しています。私は写真の知識があまりないので、れんに教えてもらいながら新しい趣味を楽しむつもりです。

私たちには共通の夢や計画があるので、未来に向けての楽しみが尽きません。親友として、これからもお互いを支え合い、一緒に成長していきたいと思っています。れんと過ごすこれまでの時間が楽しかったのと同じように、これからの時間も充実したものにしていきたいです。

友情の大切さ

私にとって、れんとの友情は本当に大切なものです。これまで、いろいろな出来事を通じて、れんとの絆はどんどん深まっていきました。私たちは、楽しい時間だけでなく、困難な状況も一緒に乗り越えてきました。そうした経験を通じて感じたのは、真の友情はお互いを支え合い、共に成長していく力があるということです。

友情は、ただ楽しい時間を過ごすだけではなく、時には相手を助けたり、励ましたりすることが必要です。れんは、私が困っているときにはいつもそばにいてくれましたし、私もれんを助けたいと思って行動しました。その結果、私たちはお互いをより深く理解し、信頼することができました。友情の中で重要なのは、相手を思いやる気持ちと、どんな状況でもお互いを支え合うことだと実感しました。

日本語を学んでいるみなさんも、日本での生活や学びの中で、時には文化の違いや言葉の壁に苦労することがあるかもしれません。しかし、そんな時こそ、友だちの存在が大きな支えになることがあります。自分のことを理解してくれる友だちがいれば、どんなに難しい状況でも乗り越えることができるでしょう。

また、友情は日本でも外国でも、どこでも大切にされるものだと思います。文化や言葉が違っていても、友情の力は変わりません。特に日本では"おもいやり"や"きずな"という言葉があり、相手を大切にすること、そして信頼関係を築くことが非常に重要視されています。私たちも、お互いのことを気遣いながら、友情を築いてきました。こうした思いやりの気持ちがあれば、友情はどんどん深まっていくはずですよ。

れんとの友情を通して、私自身も成長しました。以前よりも冷静に物事を考えるようになったし、人を助けることの大切さも学びました。そして何より、れんとの時間はいつも楽しく、心から笑える瞬間がたくさんありました。友だちは、ただ楽しい時間を共有するだけでなく、人生において本当に必要な存在だと感じています。

みなさんも、もし今困っていることがあったら、周りの友だちに助けを求めてみてください。そして、逆に友だちが困っているときには、少しのサポートでもいいので手を差し伸べてみてください。そうすることで、友情はさらに深まり、お互いにとってかけがえのない存在になるでしょう。

これからも、友情を大切にしていきたいと思っています。どんなに忙しい日々でも、友だちと過ごす時間を忘れずに、共に笑い合い、支え合いながら成長していきたいです。皆さんも、自分の大切な友だちとの絆を大事にして、素敵な友情を築いてください。それが、きっと人生を豊かにしてくれるはずですよ。

"私の親友"はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

